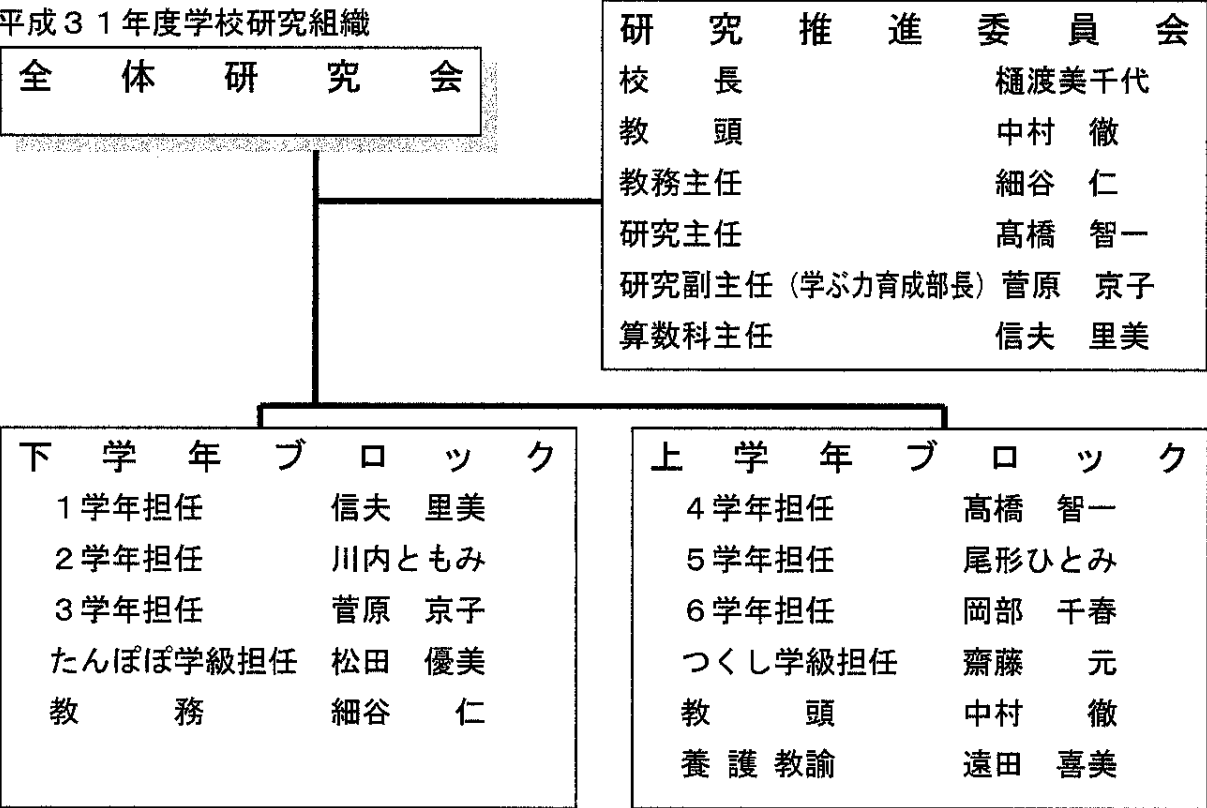


9 校内授業研究会の持ち方

- ・事前研はブロックで行う。事前研では、自作教材（パフォーマンス課題）の内容や指導過程、評価の在り方について話し合う。
- ・授業を参観しながら、児童の様子を写真で撮ったり、付箋に授業で学んだことなどを書いたりする。参観終了後、付箋を職員室に準備した指導案の拡大コピーに貼る。
- ・事後研究会は全体で行う。
- ・指導案には当日の授業で使用した自作教材（パフォーマンス課題）をつける。
- ・研究授業の日、自作教材（パフォーマンス課題）と評価の在り方など、日常の実践をしている中で感じていることについて意見交換を行う。
- ・初めに視点1から話し合いを行い、次に視点2、視点3を話し合う。
児童の「めざす姿」が授業を通してどうなったのかを、児童の「ふりかえり」などをもとに明らかにする。この結果から、手立てである「算数大魔王」が有効だったかを検証できる。

10 平成31年度学校研究組織



11 指導案について

第〇学年 算数科学習指導案

令和元年〇月〇日（〇） 〇校時
授業者 〇〇 〇〇

1 単元名

2 単元目標

※学習指導要領より

3 指導にあたって

（1）単元について

※単元についてのねらいを記載する。

（2）児童について（在籍 男子〇名 女子〇名 計〇名）

※算数科における児童の実態や、授業における話し合い活動の経験などを記載する。

◇レディネステストの結果

※単元開始時に行うレディネステストの結果とレディネス調整の手立て

4 研究主題との関連

研究主題 主体的に学びを生かそうとする児童の育成 ※（仮）
～算数科：自作教材（パフォーマンス課題）の活用を通して～

【視点1】自作教材（パフォーマンス課題）が主体的な学びに結びつくものであったか

①視点にせまるための具体的な手だてを記入する。

②

【視点2】学び合いによって、児童が主体的に学んでいたか

①視点にせまるための具体的な手だてを記入する。

②

【視点3】児童の学びの多面的・多角的な評価は適切であったか

①視点にせまるための具体的な手だてを記入する。

②